

# 令和4年度 特定非営利活動法人全国こども福祉センター 事業報告書

## 1 事業目的

特定非営利活動法人全国こども福祉センター（以下、本法人）は、子ども・若者に対して声かけ、対話交流、募金活動などアウトリーチ活動を実施し、互いの理解を深める。仲間との出会い、人間関係づくりを通じて支えあい、社会活動への参加、各々の福祉（幸福）を追求できる環境を提供する。

【本法人の定款】「次代を担う子ども達や大人も対象にした教育・文化活動や交流事業を組織的に行い、以って地域力の底上げや社会福祉の増進に寄与する」

## 2 事業の実施に関する事項

本法人は定款の目的（本法人の定款第5条第1項）のもと、特定非営利活動に係る事業（1）について対面、オンラインの方法で実施した。

### （1）特定非営利活動に係る事業

①街頭パトロール・相談事業 ②居場所づくり事業 ③まちづくり事業 ④シェルター・自立支援事業  
⑤その他非行防止に関する事業

便宜上、上記の事業名称を使用し、①～⑤と事業別に分けているが、各事業内容が独立しているわけではなく、密接に関連している。事業ごとに独立している参加者やスタッフも存在しない。

### 【事業内容】

繁華街やSNS上で、声かけ（①）や対話・交流（①）を行うことで、その場（空間）自体が子ども・若者と路上生活者などの交流拠点、すなわち居場所（②）をつくり出している。交流の場を開くことで、SOSを受け止める場を提供している（①）。

街中でありながらも、ただの通り道となっている場で活動することで、意図的に人と人が出会う、繋がりが生まれる場を提供しており、“まちづくり”を担っている（③）。

生きづらさを抱える若者や、虐待や暴力被害からの一時避難の場としての機能・役割を担っている（④）。同行支援、シェルターとしての機能を強く発揮しているほか、40名以上のコアメンバー（専門職、大学生、ボランティア）によるサポート体制が組まれている（④）。

## 3 事業評価・事業成果

本法人は、社会課題の解決を第一の目的としていない。本人の福祉や利益も各々で異なるため、一律に評価を行うことは適さない。本報告では参加者数を挙げるが、個人の成果や評価を尊重することとする。

### 評価や成果について

活動時に参加者名簿を記録している。活動回数や参加者数は、本人の行動と選択の結果で客観的な事実であり、評価や成果の参考とする。記録上確認できた項目、男女比、年齢、出身地域等も計測している。

(1) 参加者数

2022年度 活動回数 203回、参加人数 2331名 (のべ)

(2) 事業ごとの参加者

事業内容	回数	参加者数
繁華街での声かけ活動 (下見、準備、募金活動を含む)	92	1053名
オンライン活動 (交流・ミーティング含む)	19	108名
スポーツ交流 (準備・予約含む)	12	108名
事務所での交流 (ボードゲーム・掃除など)	53	600名
勉強会・講演シンポジウム その他	27	462名

N=2331 \*2020年度から感染対策を優先し、オンライン活動を行っている。

③参加者の属性：男女比、出身地（市内・市外）、年齢が分かるもの（1926名を分析）

市内			市外			合計
男性	女性	計	男性	女性	計	
336	456	792	542	549	1091	
中学生			高校生～19歳			
男性	女性	計	男性	女性	計	
2	10	12	149	292	441	
20～29歳			その他			
男性	女性	計	男性	女性	計	
480	660	1140	246	44	290	1926

N=1926 データ集計（井田まお）、分析（荒井かずき）

- ・声かけ活動の回数、参加者ともに最も多い。次いで事務所での活動回数、参加者数ともに多い。
- ・外部からの講演・研修もニーズがある。オンライン活動のニーズが失われつつある。
- ・スポーツ交流はバドミントン4回・フットサル1回のみ。  
体育館は予約が取りにくく、フットサル会場は料金が高額（1回2万円）である。
- ・名古屋市内参加者より、市外参加者が300名ほど多い。10～29歳の参加者は、女性が多い。

(3) 相談・緊急支援

家族からの虐待や暴力被害により、強い対人不安を抱え、公的支援を利用できない若者に緊急支援として、同行支援や宿泊支援を行っている（男性1名、女性4名 計5名）。

ホームレス状態の若年女性が性被害に遭うこともあり、危険から身を守るための個室やホテルを確保している。避難場所として事務所スペースを提供し、毎週使用している。

保護者からの相談（男性3名、女性3名）は、精神疾患や孤独、子どもの非行に関するものがあった。

#### 4 事業収入と支出について

(単位：千円)

収入 NPO 収益 (寄付金 2,843 千円、募金 480 千円、\*助成金 24,2 千円・事業収益 23 千円)

\*正確には、助成金ではなく、名古屋市青少年局から依頼されて、実施した街頭調査の委託料である。

経常収益 計 3,687 千円

支出 事業費合計 1,679 千円、管理費合計 6 千円 経常費用 計 1,686 千円

当期正味財産増減額 2,001 千円 (次期繰越正味財産額 4,101 千円) 詳細別紙 (2022 年度決算報告書)

#### 5 活動メンバーによる事業報告

数字等で表わしにくい質的な成果について、活動メンバーの活動報告を挙げたい。本活動は支援を第一の目的としておらず、交流を目的としている。参加者の自由意志により、活動が行われていることから、各々の目的や成果を尊重したい。\*基本的に誤字脱字のみチェックし、内容の編集は行っていない。

活動を始めてから 1 年 3 ヶ月が経ちました。活動に参加し始めた当初、わたしは福祉センターに対して、『誰かが作ってくれた居場所』という受動的とも言える感覚を強く持っていました。

しかし現在では『心地の良い空間を自分たちの手で作っていく』という能動的な気持ちが自分のなかに生まれているのを感じます。

活動を通して、苦手な人ともうまく話すことや気持ちを言語化することにも少しずつ慣れてきており、1 年前と比べて自分自身の成長を実感しています。仲間を信頼し信頼される経験を重ね、最近ではコアメンバーの 1 人として、大切なことを任されることも増えてきました。

緊急対応のために事務所で泊ることや活動日以外にも運営についてメンバーと話し合うこと、新しく出会った若者やメンバーから相談を受けることなど、きぐるみを着ていない時間も活動やメンバーのことについて考えることが増えました。

また、街頭活動ではその時々メンバーの得手不得手に合わせて、声掛けに回ったり声出しに回ったりと、臨機応変に対応できるよう日々努力を重ねています。

今年度はそれらに加えて、ひとりで抱え込まないこと、『チームで対応する』ことを目標に、よりメンバーとの深い交流を大切にしていきたいと考えています。(黒田しょうこ)

2014 年に団体のことを知り今年で 9 年目になります。諸事情で数年程脱退してしまいましたが、復帰した時にいたメンバーに温かく迎えてもらったことで現在も活動に参加することができています。

復帰当初は現場にて募金をしていただいた方との交流をメインに行っていましたが、現在は団体の経理やイベントの申込、参加希望の方々との連絡及びメンバーへの共有等の事務作業を行っています。

1 人で行う内容が多く、メンバーとの交流も薄れてしまいました。

交流が薄れてしまったことで話すタイミングも失い、自己判断で物事を進めてしまうことも多く思わぬトラブルにも繋がってしまった為、「報連相」や「メンバー同士の意思疎通」等メンバーとの関わりも大切だと感じました。お互いに情報共有しコツコツ関わりをもつことで、メンバー全員で団体を守るように頑張りたいと思います。(伊藤ひかる)

この活動に参加して、様々なことを学び成長できたと考えています。慣れていなかった声かけも回数を増やすことで多くの若者や大人の方とも話せるような声かけをすることができるようになりました。声かけで出会った子が再度顔見せてくれるようなことも増え、よりやりがいを感じています。さらに、以前よりも声かけをする年齢層も拡大して様々な人に声かけられるようになっていきます。英語は全然話せなくても興味を持ってくれた外国人に話しかけてみたり、できるだけ多くの人にこの活動のことを知ってもらえるように心がけています。私自身、就職活動を同時に行なっていることもあり活動日以外は活動に携われることがなかなかできないため、せめて活動日の時間だけは他の人よりも活動に力を入れるように心がけて日々活動をしています。まだまだ改善点を直し、成長することをやめずに活動を続けていきたいと考えています。

私自身、来年社会人に今までのように関われない状況になるかもしれません。今年が最後になるということに常に意識していきたいと考えています。より寄付者の方との合流イベントやスポーツイベント、他の団体との交流などをできる限り行なっていけたらと考えています。また、声かけも私自身が学んだことやコツを何かしらの形でこれから入ってくる子に伝承してより全国こども福祉センターの発展に貢献していきたいと考えています。

このような活動ができるのもひとえに平日頃から全国こども福祉センターの活動を支えてくださっている皆様のおかげです。これからもよろしくお願い致します。

(山本よしあき)

昨年度は SNS の発信に力を入れました。メンバーに協力してもらいながら情報発信を行っています。声をかけた子どもと繋がり、まだまだ少ないですがフォロワー数は 130 人以上になり、活動に関心を持ってくれる人や相談者につながっていくようにしました。今年度は、マンスリーサポーターを初めてとする寄付者の皆様とも、今まで以上に繋がり、活動を発信する企画を考えております。もし機会があればぜひよろしくお願い致します。

さらに昨年度は主に妊娠や虐待などの緊急性が高い相談を受け持つことが増えました。知識が少ないなか試行錯誤しながら、相談を受け持っていますが、自分が発する言葉ひとつでその子の信頼を壊したり、傷つけたりしないか不安です。

団体には他にも相談を沢山受けるメンバーがいるので、相談を受け持つメンバーが 1 人で抱え込まないよう、周りの様子をよく見て気にかけることを心がけています。どう動いていいか分からずに困っているメンバーがいたら誰よりも最初に気づいて一緒に悩んで考えて、支えられるようになりたいです。まだまだ力不足なことばかりですが、今年度もメンバーと協力しながら自分なりに居場所づくりとは何かを模索して行動出来るように頑張ります。(加藤さやか)

去年に比べて活動人数が少し増え活動準備から参加してくれるメンバーも増えました！

学生だけじゃなく社会人メンバーも少し増え、学生だけじゃできないことも助けてもらいながら活動しています！OB、OG も時間が空いた時に顔を出しに来てくれています。歴を重ねるうちに 1 歩後ろに下がって全体を見てしまうようになり、声掛けに行く回数が少ないので全体の様子も見ながらも声掛け・声出しをして行けるように頑張りたいです！

そして、暴力や性被害等、緊急支援が必要な若者の安全な場所を確保するための寄付を募った際に協

力、支援して頂きありがとうございました。引き続き全国子ども福祉センターをよろしくお願いいたします。  
(井田まお)

私は11月にはじめて活動に参加しました。その日は、私が人生で初めて名古屋の地に降り立った日でした。駅前に立って手を振っているなかで、手を振り返してくれる人がいて、声掛けをするなかでたのしく会話してくれる人がいました。私にとっての名古屋の第一印象は、あの日出会った人たちの温かさでした。大都市であっても、誰かが一歩踏み出して話そうとすれば話すことができ、全く知らなかった人同士の間に関係が生まれるのだという気づきと驚きがありました。声掛けを終えた後は、街の見え方がなんとなく少し変わっていた気がしました。(青木門斗)

9月に全国子ども福祉センターのメンバーが声を掛けてくれて活動に参加するようになりました。少しずつ声掛けや声出しが出来るようになり、もっと色々な人と話したい、苦しいことや元気をはんぶんこししたいと思うようになりました。

福祉センターは、私にとって本当に大切な場所です。そんな、素敵な場所をもっともっと広めたいです。福祉センターと出会っていなかったら私は今も、どん底にいたと思います。だけど、福祉センターと出会って、「私だけじゃないんだ」、「こんな私でも大切に思ってくれる人がいるんだ」と思うことができ、今では、福祉センターのメンバーとして私も声掛けをするようになりました。今までは、支援してもらったことが多かったけど今度は、私が誰かの支えになれるように、これからも声掛けや対話を続けていきたいと思っています。(栗本みく)

## 6 組織体制

正会員（サポーター会員24名含む） 32名

役員（理事6名 監事1名）

伊藤かなこ、平澤えみ、岸田のりこ、清水ゆりこ、冨田まさみ、荒井かずき、清水しんいち（監）

事務局 3名（伊藤ひかる・井田まお・中山ようへい）

相談員 4名（黒田しょうこ・加藤さやか・山本よしあき・坂井あやの）\*メルマガ作成

応援団 1名（梶谷しんじ）

広報 2名（希咲みらい、栗本みく）

経理 1名（清水ゆりこ理事兼任）、経理後任（伊藤ひかる事務局兼任）

コアメンバーグループ : 50名（昨年比+30）

当日ボランティア・グループライン所属者：90名（-30昨年比）

スポーツボランティア・グループ 所属者：54名（+1昨年比）

## 7 会議に関する事項

【総会】 通常総会

2022年5月21日 15:00~16:00

正会員25名 うち出席15名（委任含む）、計15名

第1号議案 2021年度事業報告と2021年度決算収支報告について

第2号議案 2021年度事業監査結果と2021年度会計監査報告結果について

第3号議案 2022年度事業計画（案）と2022年度予算（案）について  
会場：名古屋市中村区則武1-16-8-405（事務所）& オンラインZOOM

【理事会】 第一回理事会 2021年 5月23日 13:00～14:00

出席者 理事6名（出席理事6名）、監事1名 理事総数6名

出席理事（伊藤加奈子、富田正美、清水ゆり子、岸田紀子、平澤恵美、荒井和樹）監事：清水真一

第1号議案 2021年度事業報告と2021年度決算収支報告について

第2号議案 2021年度事業監査結果と2021年度会計監査報告結果について

第3号議案 2022年度事業計画（案）と2022年度予算（案）について

会場：名古屋市中村区則武1-16-8-405（事務所）& オンラインZOOM